

鍋島小学校だより

令和6年3月13日 第6号

# なべしま

「養正」～正を養う

校長

家永 裕行

## 6年生を送る会

3月1日(金)、全校児童が体育館に集まって、「感謝の会」と「6年生を送る会」を開催しました。マスクの着用と防寒を呼びかけ、換気をしながら実施しました。

感謝の会は送る会に先立って行われ、この1年間にお世話になった地域の方へ、各学年の代表がお礼を述べ、手紙を渡しました。お忙しい中、ご来校いただき本当にありがとうございました。以下、順不同で紹介させていただきます。

鍋島まちづくり協議会ふるさと学習部会 会長様 同すこやか元気部会 会長様 西久保農園様  
鍋島公民館 館長様 鍋島校区交通安全協会 会長様 鍋島地区民生委員・児童委員協議会 会長様  
鍋島長生会 会長様

送る会では、まず在校生が6年生へ感謝の気持ちを伝えました。当日の演目順に内容を紹介しします。3年生はふれあい遊びやふれあい掃除などの様子を劇にして、6年生へ感謝の気持ちを伝えました。劇はもちろん、「にじ」の歌もすばしかったです。2年生は思い出に残る場面を取り上げて劇にして、「ありがとう」を何度も伝えました。劇の後に「こぐまの2月」の合唱を披露しました。歌だけでなく、伴奏にも思いが込められていました。1年生は「心に太陽を持って」の詩を朗読した後、「思い出のアルバム」の替え歌で6年生へ感謝の思いを伝えました。「優しい6年生忘れない」「かっこいい6年生忘れない」など、歌詞の最後が印象的でした。4年生は、コミカルな要素も入れながら、劇で感謝の気持ちを表現しました。新しい学校のリーダーズや大谷翔平選手などが登場しました。「6年生はかっこいいヒーロー。寂しくなるが任せてほしい」の言葉は力強く、最後に「オーラリー(ラブミーテンダー)」のきれいなリコーダー演奏で締めくくりました。5年生は感謝の気持ちを言葉にしてしっかりと伝えました。「ありがとう」を頭文字にして、「あいさつ運動」「リーダーシップ」などの場面を取り上げて感謝の気持ちを伝えました。言葉(台詞)の一つ一つがはっきりしていました。「6年生からのバトンをしっかりと受け継ぎます。中学校でも頑張ってください」。きっとこの5年生がよりよい鍋島小学校を築いていくと感じさせられました。「大空がむかえる朝」の合唱も心に響きました。

そして6年生。鍋島小学校や先生方に関する〇×クイズで始まりました。「6年生の先生方は歌を歌うことができる。〇か×か」と問われて在校生が困っていると、サプライズで6年生に関わる先生方のパフォーマンスが始まりました。パフォーマンス後、改めて在校生は〇か×かを回答しました。手で〇を示す児童が多かったようでした(笑)。クイズの次は「旅立ちの日に」の合唱でした。美しく、余韻の残るハーモニーでした。最後に、はちまきのプレゼントがありました。

6年生を送る会の最後に話をさせていただきました。「この6年生を送る会を担当した5年生の放送・音楽委員会、計画委員会、集会委員会のみなさん、ありがとうございました。みなさんのおかげで今日の会が素晴らしいものになりました。6年生が歌った『旅立ちの日に』を聞いて、しみりとなりました。1年生から4年生までのみなさんは卒業式には参加しませんので、心に残しておいてほしいです。6年生はその言葉にもあったように、中学校でもいろいろなことに挑戦すると思います。6年生が歌った『旅立ちの日に』の歌詞にあるように、若い力を信じて広い大空に飛び立ってほしいと思います。バトンは渡されました。次はみなさんの番です。よりよい鍋島小学校を築いてほしいと思っています」。

(裏面あり)

## 6年生を送る会の様子



(上段左から)アーチの下を通して入場する6年生、感謝の会で手紙を渡している様子、はじめの言葉でのミニゲーム、3年生の発表、2年生の発表  
(中段左から)1年生の発表、4年生の発表、5年生の発表、6年生の発表(先生のニックネーム当てクイズの場面)、プログラム  
(下段)会が終わってすばやく片付けをする5年生(頼もしいです)

## いのちの授業(5年生および6年生)

本校では、学校目標「笑顔いっぱい 楽しく学ぶ 鍋島っ子の育成」を学校目標に掲げ、学力向上や心の教育などに取り組んできました。心の教育の一環として、講師の先生をお招きして命について考える授業を行いました。

5年生は1月19日(金)、「命の誕生」についての講話を聞きました。助産師で誕生学アドバイザーでもある講師の先生に、専門的立場から胎児の育つ様子や出産などについて話をいただきました。児童は真剣に話を聞いており、生命の誕生や命の尊さについて考える機会になったようでした。6年生は2月16日(金)、「生き方や今後の人生」について考えました。ホスピスの会の方々の話を聞いたり、ライフライン図を書いたりしながら、これまでの人生を振り返り、将来のことを考えました。また、座禅を組んで心を落ち着かせ、静かな時間を過ごしました。児童にとって有意義な時間となったようでした。



(写真左から)胎児の人形を使って説明される講師の先生(5年生)、全体講話(6年生)、ライフライン図を書く児(6年生)

### 児童感想

- ・お母さんのおなかの中にいるとき、いろいろな練習をしていることや命のたんじょうの時のサイズが砂つぶよりも小さいことを知りました。大切にされ、おなかの中にいるときは、ずっと守られていたとわかりました。(5年生)
- ・命というのは、きせきが重なった時にたん生することを知りました。ぼくもみんなが大切にしてくれた命を大切にしたいです。(5年生)
- ・あらためて命の大切が分かったし、自分の存在がうれしく思いました。どのように生まれてくるかが分かりました。(5年生)
- ・ライフライン図を書いて、11年間でやってよかったこと、やらなければよかったが心にうかびました。座禅のときは、あまり痛くなかったけど、すごくいい体験になりました。(6年生)
- ・ライフライン図を書いてみて、私は90才まで生きたいと思いました。未来はわからないけど、自分の人生はこうなるといいなと思った図がかけたのでよかったです。生き方を考えることは大切なことだと学びました。これからの人生、楽しくなったらうれしいです。(6年生)
- ・生きることの大切さやこれからの生き方について考えることができたのでよかったです。(6年生)
- ・いのちについて、よく考えることができました。〇〇さんの話を聞いて、何さいまで生きられるかや、生まれてから今に続くまでどんなことをしてきたのかなどを考える時間になりました。それに、座ぜんをして集中できました。(6年生)

## おはなし会

先日、「おはなし会新聞」が配付されています。新聞にも児童の様子が書かれていましたが、児童は読み聞かせを本当に楽しみにしていました。月1回、水曜日の朝の時間、児童は絵本の世界に浸りました。今日が本年度の最終日。4年生、5年生、つくし学級の児童が絵本を楽しみました。おはなし会のみなさん、本当にありがとうございました。